ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、当社は、第31期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）を終了いたしました。本冊子では、当社グループの事業および当社グループを取り巻く環境、当社グループの取り組み状況などにつきまして、分かりやすくご説明いたします。

当社を取り巻く環境

当社グループの連結売上高の中で大きな割合を占める光部品関連事業では、光通信関連用途で製品を製造・販売しておりますが、2008年に端を発する世界同時不況に関連し、光通信業界では一斉に警戒の姿勢を取って不要不急の調達を取りやめたため、設備投資が引き締められ、当社の光測定器関連事業は、大きく影響を受けました。

一方で、その間も、インターネットや携帯電話網における通信量の増大は衰えを見せず、通信事業者も設備増強を行っており、光部品の販売数量は増加に転じております。顧客からのコストダウン要求に、円高の影響も加わり、当社の売上高は大きく回復していませんが、さらに高い付加価値を持つ新製品を投入することで、競争力を維持したいと考えております。

新規事業である、OCT（Optical Coherence Tomography 光干渉断層画像）事業につきましては、新しい技術であるため、新規顧客の開拓から本採用までの間に多くの調整・開発が必要となる側面がありますが、多くの企業様から新しい可能性を求めて引き合いをいただいております。

業績ハイライト

売上高	2,449 百万円
営業利益	△190 百万円
経常利益	△219 百万円
当期純利益	△225 百万円

業績改善への取り組み

当社グループでは、単価下落、円高による利益減少に打ち勝つため、一層の原価低減活動、経費削減活動に取り組みました。人員再配置による業務適正化、月に3日の休業実施、役員報酬の引き下げなどを行い、2009年12月度以降は、単月黒字に転換することができました。

当社グループの属する光通信市場におきましては、底打ちの声は聞かれるものの、まだまだ厳しい環境が続くと考えられます。当社グループにおきましては、光技術のパイオニアとして今後も新しい技術に果敢に挑戦し、力強い成長を志向してまいります。株主の皆様におかれましても、一層のご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

2010年6月
代表取締役社長
鄭 台鎬

santec
2009年度株主通信

Hercules
Nippon New Market
Listed Company : 6777

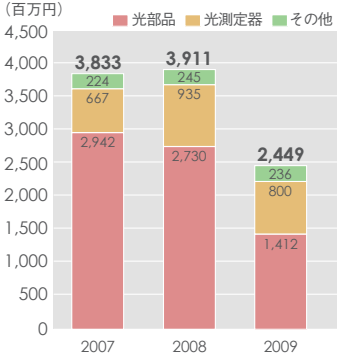
santec

業績の概況と推移

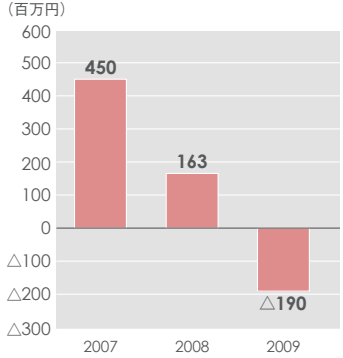
前述のような市場環境を背景として、2009年度の当社グループ業績も非常に厳しいものとなりました。データ通信量の増加をうけて、市場全体でも、当社グループにおいても、光部品の製造数量は増加に転じておりますものの、単価下落と円高の継続により当社グループの売上高は前年度に比して大きく減少いたしました。

全社的取り組みを通じて、利益確保に努めた成果もあり、第4四半期におきましては、四半期純利益が黒字となりましたが、通期で見ますと、前年度に比べ、減益となりました。

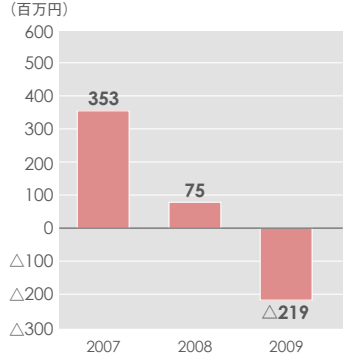
■売上高



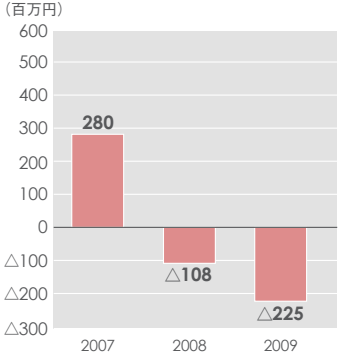
■営業利益



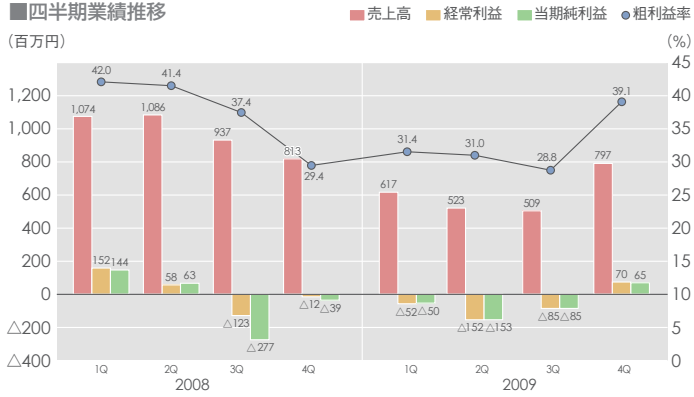
■経常利益



■当期純利益



■四半期業績推移



地域別の状況

■日本

光通信分野に関しては、NGN（Next Generation Network＝次世代通信網。本来、通信品質が保証されないインターネット網を、安全で安心な安定した品質で運用するための技術）設備投資の第一段階が完了しました。OCT関連では、医療分野での需要については大幅な減少は見られていませんが、工業用途などでは設備投資に慎重な姿勢が見られます。

■北米

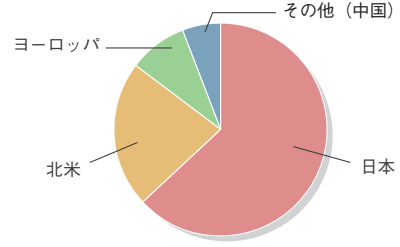
大手通信事業者においては必要な設備投資は淡々と実施するという姿勢が継続しており、市場全体では否定的な状況にはあるというわけではありません。しかしながら、昨今の為替の影響により、日本からの調達が割高に感じられるようになっていることも影響し、当社グループの業績に影響を与えております。

■ヨーロッパ

当社グループにおきましては、厳しい環境を乗り越えるため、Santec Europeの総務経理機能・受発注機能をSantec U.S.A.に集約し、Santec Europeには営業活動に専念させることによって、業務の大幅な効率向上を実現しました。

■その他の地域

中国市場においても、景気減退の影響を受け、特に生産設備投資に関しては引締めを強化する企業が増加しました。その結果、当社グループの光測定器製品の売上に影響を与えることとなりましたが、中国における研究開発投資については、大きな目減りは観測されておらず、当社グループでは研究開発用途向け製品の販売に注力してまいります。



地域別売上高の割合（請求地ベース）

当社主要事業のご紹介

当社は光通信に必須の部品を扱う「光部品関連事業」と、光部品開発のための重要な装置である測定器・光源を扱う「光測定器関連事業」、光の性質を応用し、非破壊断層画像を取得するシステムを扱う「OCT事業」、さらに光ネットワークが作り出すブロードバンド環境を利用したソフトウェアを販売する「システム・ソリューション事業」を事業の柱としております。

■光部品関連事業

光通信に必須の部品を開発し、製造販売する事業です。

光通信は、電気通信にはない優れた性質をたくさん備えています。しかしながら、光には電気にはない「光固有の性質」もあります。光を制御し、有効に利用するためには今までにない新しい技術が必要です。当社では、光通信には必要不可欠な光部品を数多く開発しております。

この世界には光よりも速いものは存在せず、光はこれからも通信における主役の座を維持し続けるでしょう。しかし、光ファイバが製品化されてからまだ40年しか経っておらず、光の制御にはまだまだ多くの課題が残されています。

santecは、より高度な光の制御技術を生み出し、それを高速・大容量・安全・安心な通信に生かしていくことを目指して日々研究を重ねています。

■光測定器関連事業

主に光通信関連の研究開発や生産活動に必須のツールを開発、製造販売する事業です。

光通信関連の研究開発には、様々な強度・様々な波長の光を実際に通すことで実験を重ねる必要があります。当社の「波長可変光源」製品は、主に光通信に用いられる波長帯で、指定の波長の光を発生させる光源装置です。

また、指定した波長の光だけを取り出す製品もあります。「波長可変フィルタ」です。

これらの製品は、主に、光通信関連企業や、大学・研究機関などに納入されます。研究開発や製造工程などに必須のツールであり、光部品の開発や製造が活発になるにつれ、設備投資需要が見込まれるものと思われます。

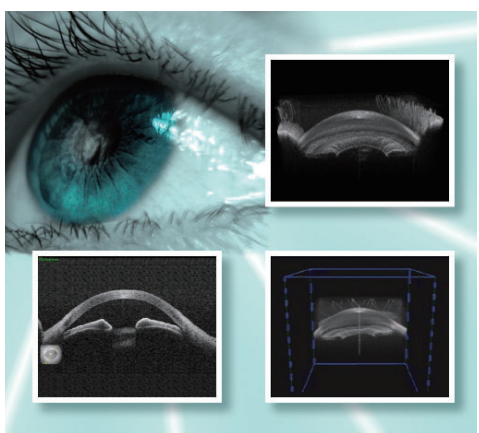
■OCT関連事業

光測定器関連事業、光部品関連事業の技術を発展させ、光コヒーレンストモグラフィ（Optical Coherence Tomography: OCT）＝光の干渉効果を利用した断層画像表示を可能にする技術を用いた製品を製造販売する事業です。

OCTは、90年代前半に発明され、レントゲンと違って放射線の被曝なく、しかも高精細な像を得られるため、眼科などで緑内障や加齢黄斑変性などの診断に用いられております。これら第一世代のOCTは画像の質には一定の制約がありましたが、santecは新しい手法で次世代OCTを世界で初めて商品化することに成功しました。

2009年12月には、その功績が認められ、第23回中日産業技術賞（中日新聞社主催、経済産業省後援）において、中日新聞社賞を受賞いたしました。

新世代OCTは商用化が始まったばかりの技術であり、解決するべき課題がたくさんあります。しかしながら、今まで断層を見ることができなかった分野での応用が可能とあって、多くの企業様からの引き合いをいただいております。



■ソリューション関連事業

ブロードバンド環境を有効に利用したソフトウェアなどを販売する事業です。（財務報告の事業別セグメントにおいては「その他」として分類されております。）主な製品として「RSup（R）（アール・エス・アップ））」があります。これは、インターネットを介したサポート用画面共有ソフトウェアであり、主にパソコンの使用方法などについての遠隔サポートを行うために使われます。

パソコンメーカーのカスタマーサポートセンターをはじめ、日本でNo.1の導入実績があります。

また、新たに、HDMI光エクステンダー（延長器）の販売を始めました。HDMI光エクステンダーは、光ファイバを使ってHDTVハイビジョンディスプレイの映像・音声信号を簡単に延長配線することができるケーブルセットです。

ハイビジョン画像は信号量が多いため、品質を落とさずに配線するためには、銅線ケーブルでは数メートルが限界でした。HDMI光エクステンダーでは最大300mの延長ができ、配線の可能性を飛躍的に高めます。

トピックス

■中日新聞社賞受賞

第23回中日産業技術賞（中日新聞社主催・経済産業省後援）におきまして、当社のOCT製品が、中日新聞社賞を受賞いたしました。

今回の表彰の対象となりましたのは、「光CT用高速波長スキャンレーザー」で、産業界にとどまらず医療の分野でも貢献している点を評価いただいたものであります。

なお、当社では、2004年にも同表彰事業におきまして「MEMS光アッテネータ MOVA-1/8」で特別奨励賞を受賞しております。

2009年12月10日に開かれた名古屋市中区の名古屋観光ホテルでの贈呈式におきまして、当社社長の鄭台鎬が挨拶し、通信分野の企業ながら、医療分野にもチャレンジしたこと、５年前には特別奨励賞をいただき、今度は５年以内に経済産業大臣賞がとれるよう新たな技術に挑戦したいと考えていることを述べました。

■地域貢献活動

当社は愛知県小牧市を本拠地としておりますが、当社の事業活動は地域社会の皆様のご理解のうえに成り立っていると考えております。

本年も、全社員が参加し、地域の皆様と合同で、清掃活動を行いました。また、地域の大学より会社見学の受け入れを行うなどの活動も継続して実施しております。

これからも様々な形で地域社会との関わりを大切にしていきたいと考えております。

大学生の会社見学受け入れ

会社周辺の清掃活動

会社概要

社名	santec株式会社　（証券コード6777）
住所	愛知県小牧市大草年上坂5823番地
資本金	4,978百万円
設立	1979年8月25日
従業員	134名（2010年3月31日現在）
HPアドレス	http://www.santec.com/jp

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当	期末配当基準日　3月31日 中間配当基準日　9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 ご照会先：中央三井信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル：0120-78-2031

株式に関するご照会先について

○住所変更、単元未満株式の買取等について
株主様の口座のある証券会社にお申し出下さい。
尚、特別口座の株主様は、中央三井信託銀行までお申し出下さい。

○未払配当金の支払いについて
中央三井信託銀行までお申し出下さい。